

2014年1・2月 第39号
 三重県労働組合総連合
 〒514-0015 三重県津市寿町7-50
 みえ平和と労働会館
 TEL 059-223-2615 FAX 059-223-4495
 http://mieroren.labor.net.jp/

みえ労連

zenroren

楽しかった鍋パーティ



1月17日みえ労連北勢地域青年連絡会の鍋パーティには14人が集まりました。3月21・22日にはスキーツアーを計画中。

この半年で1000人増！ 1万人の みえ労連めざし、地域に打って出よう

みえ労連第28回評議員会開催

県内介護事業所1984か所 を400人体制で総訪問

2月中旬下旬



1月10日(土) みえ医療福祉生協・地域支援センターえがおで、みえ労連第28回評議員会が開かれました。大会には評議員19名をはじめ、幹事、傍聴者など約50名が参加し、春闘勝利をめざす方針などを満場一致で可決しました。

医労連・木村さんの司会で始まった会議は議長に小川さん(自治労連)を選出し、議事を進めました。

冒頭、臼井議長は「年末の総選挙で与党は3分の2の議席を獲得したが、民意を反映しない選挙制度の結果だ。一方で、真正面から安倍政権に対決し対案を出す政党が議席を伸ばした。また沖繩では4区ともオール沖縄派が当選し、共同の力を示した。団結すれば要求は実現できることを改めて教えられた。みえ労連はこの半年で6300名に前進した。政府は残業代ゼロ法案などを強行する構えを見せているが、たたかいの出発点となる評議員会となるようお願いしたい」とあいさつを行いました。

続いて藤井事務局長が、昨年8月定期大会以後の活動報告と春闘を含む今

後半年の活動方針を提案しました。この半年で4ケタに迫る大幅な組員増ができ、6年連続の増勢で2015年を迎えることが出来たこと、昨年の鈴亀労連に続き桑員労連が結成されたこと、北勢で20代の女性事務局長が誕生したこと、自動車共済で加入者が倍増したことなどの組織的前進を喜ぶと共に、「29市町に地域ユニオン・9地域に地域労連」をつくることをはじめ、1万人みえ労連実現の目標を引き続き堅持することが強調されました。

また安全・安心な三重をつくる取り組みの一環として、介護事業所総訪問行動(別項)が提起されました。さらに来る三重県知事選挙には「やさしい三重県政をつくる会」として県政刷新に全力を尽くすことが提案されました。

これを受けて、17人から発言がありました。発言概要は以下の通りです。



団結ガンバロー

開会あいさつ
臼井議長



活動報告
藤井事務局長



評議員の発言

年金者組合
鬼頭さん



現役労働者の中にも「年金はもらえないんだらうか」という不安がある。年金者組合は最低基礎年金の実現をめざして、みえ労連といっしょにたたかう。

中勢地域労組
伊藤さん



伊賀市の大同工業で工場長らのパワハラを受けた上、不当解雇された宮辻さんが、裁判で闘っている。みなさんの支援をお願いします。

福祉保育労
市川さん

ぐみの木保育園独自の署名一万人分を集めて鈴鹿市と交渉。初めて市長が出てきた。新制度になってからもこれまでの保育の水準は下げたくない。

南勢労連
奥野さん

自動車共済強化4県の一つとして積極的に取り組み加入は33台から73台に増えた。仲間ふやしと共済を結合して取り組むことが大事だ。

国公労連
神部さん

賃金カットに対する判決は残念な結果だったが、カットの不当性は一定明らかにすることが出来た。活動しにくい労働実態に負けず、元気で明るい組合活動をめざす。

自治労連
加納さん・福田さん

サマーセミナーには70人近い青年が集まった。北勢から三重県全体に広げていきたい。若い人を紹介してください。1月17日にはグリーンスペースで新年会(なべパーティ)をします。

医労連
浜中さん

安倍政権のもとで介護サービスの利用制限が行われようとしている。厳しい条件で働く介護労働者をいっそう苦しめる改悪は許されな

生協労連
福島さん

コープみえ労働組合では最賃アップに呼び出し、シニア時給を740円から765円にアップすることが出来た。事業所統廃合に伴い解雇・雇止めのおそれがある。みえ労連の力も借りて取り組みたい。

建交労
大山さん

運送会社での争議を支援している。ピラマキや労働相談をしているがなかなか結果が出ない。組合員の減少にも悩む。勉強会をして、知識を力に、仲間を増やしていきたい。

みえ教育ネット
吉田さん

新しい組合員が4名増えた。うち2人は20代の若者。臨時教員運動を応援する中でつながりが深まった。

聖母の家政職員組合
大原さん

非正規労働者に目を向けた組合活動は発展する。職場会議をする暇もないほど忙しいが、アンケートなどがんばりたい。

南勢介護医療ネット
中村さん



各市で新しい介護保険計画が策定されているが、国のシフトに数字を入れてただけで地域の声を反映していない。介護アンケートの取り組みを大きな運動にしたい。

北勢ユニオン
稲垣さん

運送会社の女性従業員に対するセクハラ・パワハラ事件では最初の団交までに4ヶ月かかった。裁判は2年目を迎えている。福井弁護士への応援を得て勝利をめざしている。

鈴亀労連
橋詰さん



3月15日に5組合500人で結成した。毎月の幹事会では労働者の権利などのミニ学習会をしている。ホームページも立ち上げた。



だれでも
できる

介護事業所総訪問の調査員募集

誰でも参加出来る「介護事業所総訪問活動」

1 とりくみの目的

昨年「医療介護総合法」が成立し、介護保険制度が大幅に変更されました。介護の仕事をする人、身内の介護に携わる人、これから介護を受ける人など、すべての人にとって不安や心配は大きくなるばかりです。そこで、「介護保険制度改定の影響に関するアンケート」を三重県内すべての介護事業所（1984箇所）に送り、回収する作業に400人体制で取り組みます。「介護保険制度を少しでも改善させる」「介護従事者の賃金労働条件を向上させる」「そのために県内・地域のネットワークをつくる」ことが目的です。

昨年9月、みえ労連が実施した県内29市町への「介護保険の総合事業への移行に関する調査」では、29市町のうち25市町（86%）で「見通しが立たない」「地域資源がなく体制もとれない」「検討中」との回答でした。今回、実際に介護を担う事業所の声を直接聴き取ること、三重県内の運動を大きく前に進めることをめざします。

2 とりくみの主体

三重の介護をよくする会

【世話人】 臼井照男（みえ労連） 辻井良和（年金者組合）

中道和久（小規模ケア研究会） 藤井新一（社保協）
杉本裕美（新婦人） 村瀬 博（三重短大）

【事務局】

新家 忠文（みえ自治労連）

3 日程

- 2月12日（木） アンケートと資料を、各事業所あてに発送
- 2月19日（木）～ 調査員が訪問しアンケートを回収
未記入の事業所へは再訪問（FAXでの回答も可）
- 2月27日（金） アンケートの回収しめきり

↓
アンケートの集計と分析

- 3月～4月 アンケート結果の公表（記者発表）
- 4月～5月 29市町と県・国へアンケート結果を伝え、改善を要望
（詳しくは別紙参照）

あなたも調査員になって、介護事業所をgoっしょい訪問しませんか
（一人あたり7～8箇所の訪問を予定しています）



2015春闘共闘結成



悪条件は、労働者が人たるに値する生活を営む必要を充たすべきものでなければならぬ。紹介しながら、解雇自由、残業代ゼロ、生涯ハケン、など安倍政権の労働法制改を批判し、労働組合が運動をいっそう強化することを期待を述べました。

1月10日（土）16時30分よりみえ医療福祉生協・地域支援センターえがおで、2015三重県国民春闘共闘推進会議・結成総会が開かれました。南勢高池田委員長の開会あいさつに続き、みえ労連臼井議長が基調報告、そして三重合同法律事務所森一恵弁護士が「安倍政権の進める憲法破壊と労働組合への期待」と題してミニ講演を行いました。森弁護士は「労働条件は、労働者が人たるに値する生活を営む必要を充たすべきものでなければならぬ」という労働基準法1条を業代ゼロ、生涯ハケン、残業など安倍政権の労働法制改を批判し、労働組合が運動をいっそう強化することを期待を述べました。

森一恵弁護士がミニ講演

1月10日（月）みえ労連と三重県社会保険推進協議会が共催する介護学習会がサンワロク津で行われました。講師は三重短期大学講師の村瀬博さんと、小規模ケア研究会代表の中道久さん。主催者の予想を上回る70名の参加者で会場はいっぱいとなりました。参加者は、2015年度に改正される介護保険制度の問題点について、講師の話に熱心に耳を傾けました。また学習会では介護事業所総訪問活動について説明があり、みんなが成功させようとのよびかけが行われました。

介護学習会に70名



2015みえ労連新春のつどい

評議員会・春闘共闘結成総会に引きつづき、2015みえ労連新春のつどいが賑やかに行われました。写真でご覧下さい。



乾杯の音頭は小山さん



100年前に製作されたギターを手にする池田さん



じゃんけんゲームで賞金を獲得した紀平さん



腕を組んで「がーんばーろうー♪」